

7月2日 卵 5個	7月4日 孵化 1日目	7月5日 孵化 2日目	7月6日 孵化 3日目	7月7日 孵化 4日目
				
7月8日 孵化 5日目	7月9日 孵化 6日目	7月10日 孵化 7日目	7月11日 孵化 8日目	7月12日 孵化 9日目
				
7月13日 孵化 10日目	7月14日 孵化 11日目	7月15日 孵化 12日目	7月16日 孵化 13日目	7月17日 孵化 14日目
				
7月18日 孵化 15日目	7月19日 孵化 16日目に巣立つ			
				

7月2日に、滝脇小学校の校舎南側の教室窓のすぐ下にハクセキレイの営巣を確認しました。子どもたちは、そっと営巣の様子をのぞき込んでいました。

ハクセキレイの卵はシジュウカラに比べると2回り程大きく、青っぽい灰色をしていました。ハクセキレイは約2週間の抱卵（卵を温める時期）を経て、巣立っていきます。2週間が過ぎたころ、産毛のない、肌色のヒナが生まれ、無事5羽の孵化が確認できました。

エサをあげるハクセキレイ



親鳥のお父さん、お母さんは数分毎にエサを運んでいました。エサは、イモムシやバッタなどで、ヒナの口に入れていました。お父さんとお母さんでエサのあげ方に違いがありました。お父さんは、短い時間であつという間にエサをあげると、すぐに飛び立っていましたが、お母さんは、どのヒナにあげようかじっくりと眺め、丁寧にあげていました。そして、ヒナが食べる姿をしばらく見た後、次のエサを探しに出かけていきました。

日に日にひなが成長する姿はとても微笑ましいものがありました。孵化15日目ごろから、親鳥がヒナをしきりに呼ぶように鳴く姿が見られました。そして16日目、巣にはヒナの姿は見られず、校舎やフェンスの高い所では親鳥が夫婦で鳴き続けていました。下を見るとかわいらしいヒナが数羽おり、見守っているようでした。

(文責 滝脇小学校 校長)

卵の大きさを比較すると

シジュウカラの卵



ハクセキレイの卵

